



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月7日

上場会社名 株式会社サンエー 上場取引所 東
コード番号 2659 URL <https://www.san-a.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 豊田 沢
問合せ先責任者（役職名） 経営企画部長（氏名） 玉寄 雅人 TEL 098(898)2230
半期報告書提出予定日 2025年10月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切り捨て）

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	122,216	1.3	8,706	△5.1	9,106	△3.5	5,874	△1.0
2025年2月期中間期	120,655	5.1	9,170	8.6	9,432	9.2	5,934	5.8

（注）包括利益 2026年2月期中間期 6,440百万円（ 1.7%） 2025年2月期中間期 6,332百万円（ 7.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	94.99	—
2025年2月期中間期	95.98	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期中間期	211,767	155,608	71.6
2025年2月期	191,224	154,546	78.7

（参考）自己資本 2026年2月期中間期 151,522百万円 2025年2月期 150,507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2026年2月期	—	0.00	—	—	—
2026年2月期（予想）	—	—	—	100.00	100.00

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	247,876	4.5	17,227	1.8	17,796	1.9	11,005	△4.0	177.98

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期中間期	63,963,308株	2025年2月期	63,963,308株
② 期末自己株式数	2026年2月期中間期	2,115,656株	2025年2月期	2,125,856株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年2月期中間期	61,841,823株	2025年2月期中間期	61,831,476株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2025年10月17日(金)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(中間連結損益計算書)	5
(中間連結包括利益計算書)	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2025年3月1日～2025年8月31日）におけるわが国経済は、雇用情勢・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復が続いております。その一方で、継続する原材料価格の上昇や米国の通商政策の動向等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

沖縄県の経済におきましては、入域観光客数が前年同期を上回って推移しており、国内観光客は過去最高を更新、外国人観光客も台湾や韓国を中心に回復し、今後も増加が見込まれております。一方で、継続的なインフレ下での商品の値上げにより、お客さまの節約志向が高まっており、人手不足や各種コストの増加、業態の垣根を越えた競争の激化等、小売業界については厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社の経営方針を「あるべき姿」とし、人財力や仕組力、商品力、店舗力の向上に取り組むとともに、引き続き企業理念の浸透、七大基本（クリンリネス、鮮度と品質、品揃え、価格、陳列技術、サービス、正しい表示）の徹底、既存店の活性化、効率化を図る等、お客さま満足度の向上に努めております。

その結果、当中間連結会計期間における営業収益（売上高及び営業収入）は1,222億16百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は87億6百万円（同5.1%減）、経常利益は91億6百万円（同3.5%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は58億74百万円（同1.0%減）となりました。

【人財力の向上】

正社員、パートナー社員（パート）、アルバイトに対する社員研修を積極的に実施し、企業理念の浸透や七大基本の徹底などの理念教育と、実務研修として事業部研修（県外や海外のメーカーや産地・工場の視察研修、食品加工センターと店舗社員の交流研修等）、新任店長研修を行いました。理念教育と実務研修の両輪により、持続性ある企業経営に向けた人財育成に取り組んでおります。

【仕組力の向上】

食品スーパーにおいてフルセルフレジや電子棚札、外食レストランにおいてタブレットオーダーシステム・配膳ロボット等の効率機器を積極的に導入し、接客対応時間の増加や働き方改善に繋がるよう取り組んでおります。当期（2026年2月期）につきましては、食品スーパーにおいて電子棚札を20店舗、フルセルフレジを24店舗へ導入を予定しております。

【商品力、店舗力の向上】

食料品につきましては、独自性商品（「くらしモア」「ローソンオリジナル」「成城石井」の各商品等）の販売を強化しております。また、食品スーパーにおいて試食販売を強化し、商品価値を伝えることで売上点数アップにつながるよう取り組んでおります。衣料品につきましては、沖縄独自の文化である「かりゆしウェア」の売上が豊富な品揃えにより好調に推移しております。また、国内・海外からの観光客の増加に伴い、土産品の売上や免税売上も伸長しております。

既存店につきましては、4月に「V21食品館我如古店」（沖縄県宜野湾市）を改装、6月に「石垣シティ」（沖縄県石垣市）を建替えし新館を開店、8月に「V21食品館照屋店」（沖縄県沖縄市）を改装いたしました。また、新規業態として「サンエー浦添西海岸PARCO CITY」（沖縄県浦添市）において、6月に「サンエーNintendo Area（任天堂売場）」、9月にフランチャイズ店舗「Soup Stock Tokyo 沖縄・浦添パルコシティ店」を開店いたしました。今後も既存店の活性化に積極的に取り組んでまいります。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

【小売事業】

小売におきましては、3月～6月の各部門売上は堅調に推移いたしましたが、沖縄県の平均気温が前年より低く推移したことや、前年に実施された沖縄県の省エネ施策の反動等により、家電（エアコン等）の売上が苦戦いたしました。また、旧暦行事（お盆）のずれ（前年：8月16日～8月18日、今年：9月4日～9月6日）等により、食料品の売上に影響がありました。

その結果、営業収益は1,175億9百万円（前年同期比1.1%増）となりましたが、一方で既存店の建替え及び改装に伴う休業や経費計上等もあり、セグメント利益は75億20百万円（同8.4%減）となりました。

【コンビニエンスストア事業】（以下「CVS」という。）

CVSは、FC店舗を1店舗閉店、3店舗の新規開店及び既存店が好調に推移し、営業収益は47億18百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益は11億85百万円（同23.2%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して205億43百万円増加し、2,117億67百万円となりました。主な要因は、当中間連結会計期間末が金融機関の休日であったこと等により現金及び預金が141億68百万円、売掛金が35億1百万円増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して194億80百万円増加し、561億58百万円となりました。主な要因は、当中間連結会計期間末が金融機関の休日であったこと等により買掛金が119億19百万円、流動負債その他が59億77百万円増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して10億62百万円増加し、1,556億8百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が9億27百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末より141億68百万円増加し、740億11百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得た資金は233億56百万円(前年同期10.0%増)となりました。

主な要因は、当中間連結会計期間末が金融機関の休日であったこと等により仕入債務が119億19百万円増加したことや、税金等調整前中間純利益が90億47百万円、減価償却費が32億8百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は37億69百万円(前年同期比34.5%増)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出29億23百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は54億19百万円(前年同期比43.9%増)となりました。

主な要因は、配当金の支払額49億39百万円、非支配株主への配当金の支払額4億60百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年4月7日付の「2025年2月期 決算短信」で発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,843	74,011
売掛金	7,265	10,766
商品及び製品	15,180	15,849
原材料及び貯蔵品	475	440
その他	3,053	4,211
流動資産合計	85,818	105,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	49,138	47,259
土地	35,290	35,613
建設仮勘定	4,802	5,860
その他（純額）	3,956	4,409
有形固定資産合計	93,188	93,142
無形固定資産	801	777
投資その他の資産	11,415	12,567
固定資産合計	105,405	106,487
資産合計	191,224	211,767
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,651	23,570
未払法人税等	2,259	3,233
賞与引当金	1,553	2,080
その他	14,131	20,109
流動負債合計	29,596	48,994
固定負債		
退職給付に係る負債	2,675	2,740
資産除去債務	646	652
その他	3,759	3,771
固定負債合計	7,081	7,164
負債合計	36,678	56,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,723	3,723
資本剰余金	3,720	3,730
利益剰余金	147,224	148,152
自己株式	△4,222	△4,202
株主資本合計	150,446	151,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85	152
退職給付に係る調整累計額	△23	△34
その他の包括利益累計額合計	61	118
非支配株主持分	4,038	4,086
純資産合計	154,546	155,608
負債純資産合計	191,224	211,767

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年8月31日）	当中間連結会計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年8月31日）
売上高	111,339	112,260
売上原価	75,969	76,908
売上総利益	35,369	35,352
営業収入	9,316	9,955
営業総利益	44,685	45,308
販売費及び一般管理費		
給料	11,489	12,087
賞与引当金繰入額	2,373	2,080
退職給付費用	230	236
減価償却費	3,305	3,208
その他	18,116	18,988
販売費及び一般管理費合計	35,514	36,601
営業利益	9,170	8,706
営業外収益		
受取利息	5	62
受取配当金	21	80
債務勘定整理益	72	85
その他	189	193
営業外収益合計	288	421
営業外費用		
支払利息	12	12
その他	14	8
営業外費用合計	26	21
経常利益	9,432	9,106
特別損失		
固定資産除却損	179	59
特別損失合計	179	59
税金等調整前中間純利益	9,252	9,047
法人税、住民税及び事業税	2,702	3,004
法人税等調整額	215	△340
法人税等合計	2,917	2,663
中間純利益	6,335	6,383
非支配株主に帰属する中間純利益	400	508
親会社株主に帰属する中間純利益	5,934	5,874

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年8月31日）	当中間連結会計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年8月31日）
中間純利益	6,335	6,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	67
退職給付に係る調整額	6	△10
その他の包括利益合計	△3	56
中間包括利益	6,332	6,440
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	5,931	5,931
非支配株主に係る中間包括利益	400	508

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 3 月 1 日 至 2024年 8 月 31 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 3 月 1 日 至 2025年 8 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	9,252	9,047
減価償却費	3,305	3,208
固定資産除却損	179	59
賞与引当金の増減額 (△は減少)	823	527
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	45	55
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,686	△3,501
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△55	△634
仕入債務の増減額 (△は減少)	12,047	11,919
未払金の増減額 (△は減少)	1,122	1,792
預り金の増減額 (△は減少)	2,119	3,166
その他	△582	△221
小計	25,571	25,417
法人税等の支払額	△3,261	△2,060
合意解約金の支払額	△1,081	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,228	23,356
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,755	△2,923
その他	△46	△845
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,802	△3,769
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△3,394	△4,939
非支配株主への配当金の支払額	△352	△460
その他	△19	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,766	△5,419
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	14,659	14,168
現金及び現金同等物の期首残高	54,848	59,843
現金及び現金同等物の中間期末残高	69,508	74,011

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。